

“エコシティたかつ×木材利用” 林産地と連携し、高津区役所を木製品の展示場としていきます

川崎市では、脱炭素社会の実現に向けて、木材利用を促進しており、区役所や小学校等の木質化・木造化を実施するとともに、林産地ツアーの開催、市民向け木材利用促進イベントを実施しています。

また、高津区役所では、地域から環境課題の解決に向けて取り組む「エコシティたかつ」推進事業の一環として、区役所庁舎を「エコシティホール」として環境技術等の導入・発信の場としており、太陽光発電システムの導入、光触媒フィルムを加工した看板の設置などのほか、国産木材利用促進の取組として、1階のキッズスペース・市政資料コーナー・待合ベンチを木質化しています。

このたび、「エコシティたかつ」×木材利用の第1弾として、木の肌触りや温もりを座りながら感じていただき、その良さを知ってもらうため、「川崎市木材利用促進フォーラム」（以下、「フォーラム」）に参加する林産地の和歌山県と連携し、区役所1F市民ホールで「紀州材」の椅子を展示しています。

今後とも、フォーラムに参加する全国の林産地の自治体と連携し、「エコシティたかつ」推進事業の様々な場面で木材利用を促進していきます。

1 概要

- (1) 展示期間：令和6年3月末まで
- (2) 展示場所：高津区役所1階市民ホール
- (3) 展示物：ロッキングチェア1脚、腰椅子1脚
- (4) 材 料：紀州材（スギ、サクラ）
- (5) 協 力：和歌山県農林水産部森林・林業局林業振興課

「林産地へ思いをよせて頂き、国産材の利用促進につながる機会になることを願っています。」
(和歌山県担当者)



自由に座って、木の感触や座り心地を感じることができます。

2 木材利用促進に関する市内での和歌山県と連携した主な取組

- 「川崎駅前優しい木のひろば」出展
- 新百合ヶ丘駅前商業施設、檜山公園での木育イベント
- 「紀州材・産地見学会」を通じた林産地との交流
- 市役所新本庁舎復元棟屋上への木製ベンチ寄贈（令和5年8月中旬設置予定）
- 川崎市木材利用促進フォーラム
 - ・木材消費地である川崎市で、有識者や公益団体、民間事業者、行政団体など、木材利用に関わる様々なサプライヤーの情報共有やビジネスマッチングの場として平成27年に設置。会員数約150団体（令和5年7月現在）。



川崎市木材利用促進フォーラム
(川崎市HP)

3 「エコシティたかつ」推進事業

100年後のたかつのまちのために、自然のにぎわいとともにある持続可能な循環型都市「エコシティたかつ」の再生と創造を目指す取組です。本市脱炭素戦略におけるモデル地区「脱炭素アクションみそのくち」など地球温暖化緩和策の取組を進めるとともに、気候変動適応策や生物多様性の取組みを進めています。



<市政資料コーナー、待合ベンチ、キッズスペース>



エコシティたかつ
(川崎市HP)

【問合せ先】

<エコシティたかつ推進事業に関すること>

川崎市高津区役所まちづくり推進部企画課 星 電話 044-861-3130

<木材利用促進に関すること>

川崎市まちづくり局総務部企画課 北村 電話 044-200-2705